



春暖（上揚）

うたごよみ  
（弥生）

【短歌】

米納三雄選

お決まりの論争続く国会か財政危機の論議を待てど  
吉永由紀子

年重ね神に仏に願いごと増えるばかりの吾の人生  
上村やす美

紋付き鳥と亡父が呼びし上鶴今日も訪い来ぬ  
白山紋付けて  
内山タミエ

アジアカップに日本男子快勝しみごと期待に答えてくるる  
緒方 明美

新しき暦に咲ける水仙を幾度も眺めお茶を飲みおり  
赤星 延子

冬の夜の寒さに目覚めふと思う先の短きわれの残生  
塚原 暁益

新年の朝は一面の銀世界混迷政治の正常願う  
本田富美子

届きたる数多の賀状繰り返し繰り返し読み嬉しさつもの  
松本ぬい子

降る雪を櫻散るかと眺めつつ露天の風呂に曾孫と浸る  
森田 房恵

ナツメロが聞こえて来れば思い出す三つ違いの函館の人  
内田乃武子

健康で八十路を歩む幸せを親に告げおり仏前に来て  
井上ユリ子

庭に撒く餌ついでみて蹲の薄氷つつき鶴飛び立つ  
上村 かず

眼の前の人の名前が出て来ずに「あの」「あれ」「それ」が脳裏を巡る  
渡辺 幸士

【川柳】

【節分】

鬼がこぼす暮れのサンタが羨まし  
北 仁子

節分の豆噛みたくて義歯入れる  
成松 松枝

節分に夢取り返し豆を食う  
緒方 瑞枝

鬼は外、今年はきつと福は内  
布田 愛子

福は内寒波退散春が来る  
古閑千ヨミ

節分に可愛い青赤鬼がやって来た  
楠井かをる

【許す】

許してねと謝る孫の頭なで  
内村 邦炎

許すとは言わぬが送る祝い金  
林 雅之

許すとは言わぬ遺影に許し乞う  
丸岡はる子

国技背に相撲八百長許されぬ  
伊豆野ヤエ

許されてただ笑うしか九十歳  
福田 清子

許しては居ても素直にでない親父  
渡辺 幸士

【俳句】

年来の友訪ね来て初笑う  
田端 慶子

朝の冷え湯呑の温み掌に包み  
堀田 孝恵

新春や夢抱く子の遅しく  
本田 信子

七草粥九十の齢顧みる  
高田レイ子

子の手借り階を登りて初詣  
古田 幸子

浮寝鳥月の光りに寝ねしかも  
楠本 美鶴

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局  
☎096・234・1111（内線321）

